

ボランティアセンターの今を知って start on!

Now V-station

2022

12

No.009



cover: ボラがく vol.20「エイズ予防」の活動風景

◎特集

HIVとエイズのことを正しく伝えたい。

竹内 洸稀 さん (工学域3年)

大学生活のなかで

かけがえのないものを残したい。

大学生活のなかでかけがえのないものを何か残したい。という思いがきっかけでV-stationを訪れ、今は“しらさぎおうちごはん”と“NPO法人モモの木”で活動しています。

どちらも「子ども食堂」を開催していて、僕は注文数に応じて調理や買い出しをしたり、モモの木ではそれに加えて「子ども図書館」という地域の居場所作りも行っています。

子どもたちと一緒に遊んでるときには、子どもたちが満面の笑みを見せてくれたりします。その姿を見て、自分の活動がほんの一部でも他人の生活の支えになっていると感じることが、やりがいに繋がっています。

僕自身、学科は工学ですが、経験を通していろんな世界や価値観を学ぶことは必ずプラスになって、どこかしらでなにかに必ず繋がると感じています。



NPO法人モモの木のイベントでわた菓子を作っている様子

CONTENTS 目次

特集 HIVとエイズのことを正しく伝えたい。

記事① 12月の活動①
ー チャリティーバー プレイイベント

記事② 12月の活動②
ー 学生LIVErary

記事③ 12月の活動③
ー ボランティア先生@若松台中学校

記事④ 12月の活動④
ー なかよしクリスマス会

コラム 12月は「寄付月間」



COVER

ー表紙の写真ー

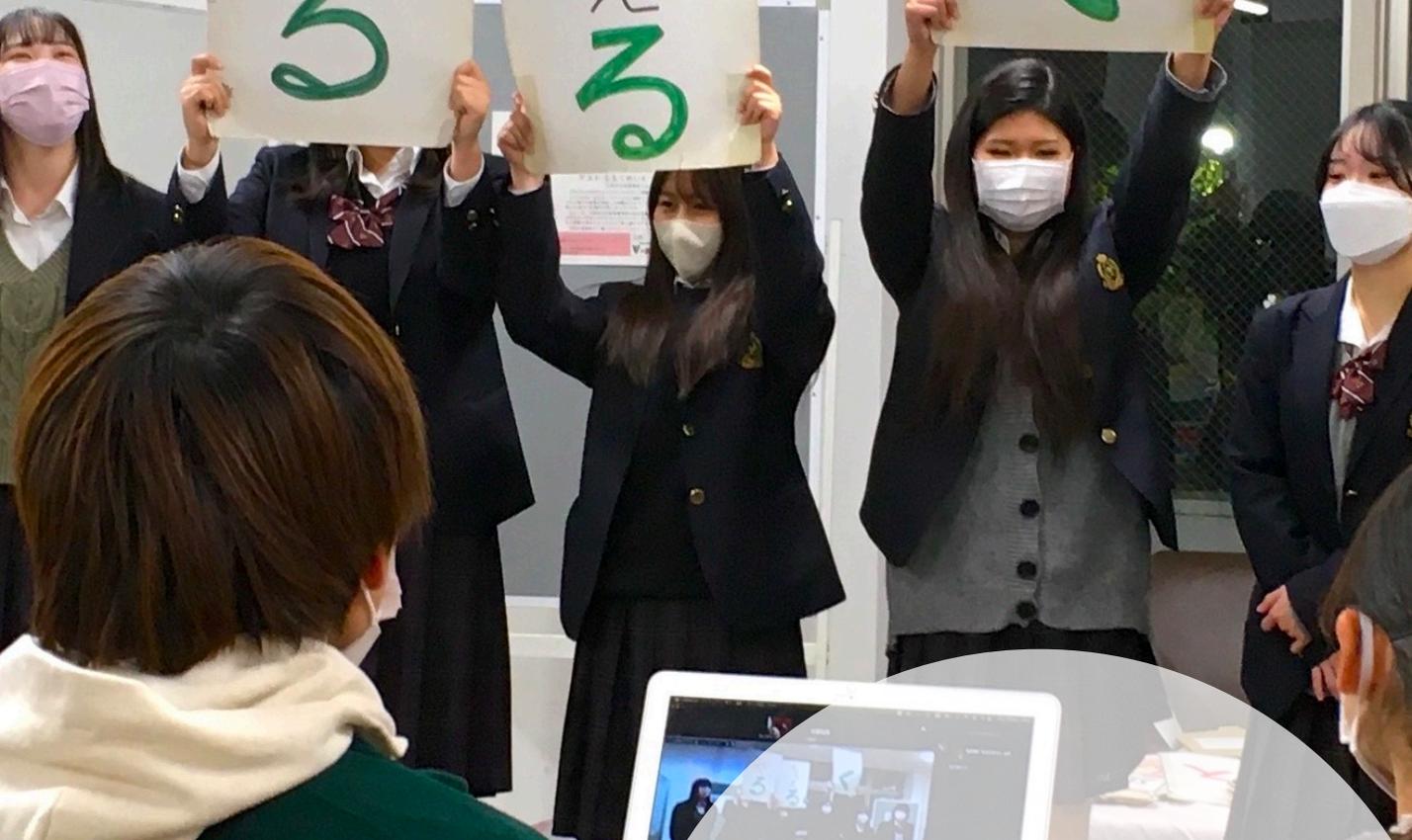


12月14日に開催した「ボラがく」の中で撮影されました。堺市に隣接する松原市にある大阪府立松原高校から“るくめいと”をお招きして開催した今回のボラがく。HIVとAIDS(エイズ)について、高校生と一緒に学びました。高校生ならではの伝え方、そして教育手法のレベルの高さに感動した回となりました。詳しくは特集でも扱っているのでぜひご覧ください。

知る

考える

力強く



特集

HIVとエイズのことを
正しく伝えたい。

— 12月1日 —

世界エイズデー

12月1日は、世界レベルでのエイズのまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を目的に、WHO(世界保健機関)が制定している**世界エイズデー**でした。

1988年に制定され、毎年12月1日を中心に、世界各国でエイズに関する啓発活動が行われています。

V-stationでは、この世界エイズデーにあわせて、**ボラがくvol.20「エイズ予防」**を開催しました。

大阪府立松原高等学校の生徒が“自主活動”としてHIV・AIDSの予防啓発活動を行うグループ「**るるくめいと**」を今回のゲストとしてお招きしました。

エイズ予防財団キャンペーンテマ

このまちで暮らしている。私もあなたも。

12月1日は世界エイズデー



- Vol.20 -

ボラがくとは...
世の中にある社会課題や状況について知る・学ぶことを目的としています。ゲストと参加者と双方向に交流することにより「一人ではできない学びを得られる場」をつくります。

【参加申し込み方法】

件名に「ボラがく(20)」、本文に「氏名」「所属」を記入して下記メールアドレスまでご連絡ください。
受付後、ZoomのID・Passをお送りします。参加定員は先着10名です。
メールアドレス：volunteer_cmu@ymail.ne.jp

主催：

大阪府立大学ボランティア・啓発活動センター
V-station

12月1日は世界エイズデー

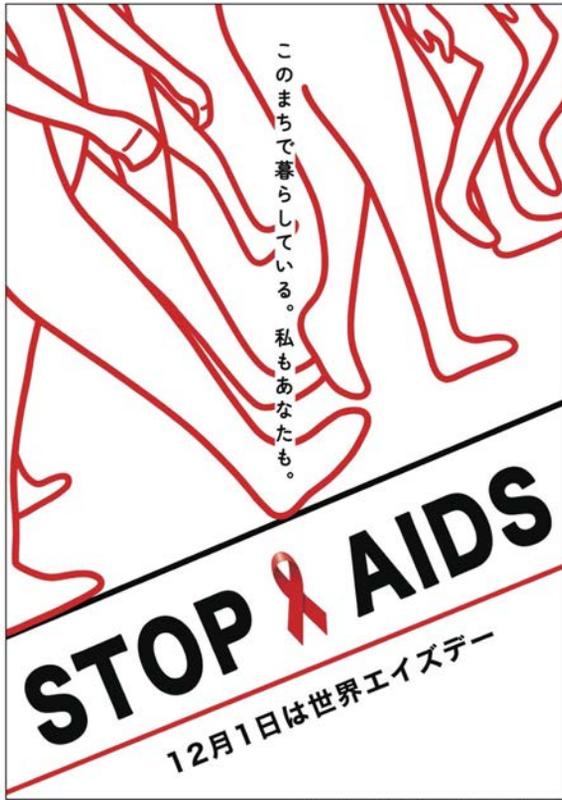
12月のテーマ「**エイズ予防**」

12月14日 水 18:30~20:00

①オンライン(ZOOM)
and V-stationなかもず

ゲスト: **るるくめいと**
(大阪府立松原高校るるく)

みなさんはHIVとエイズのことを正しく理解していますか？
エイズとは、HIVというウイルスに感染して免疫力が低下し、決められた様々な疾患を発症した状態のことで、日本の新規HIV感染者は特に20歳代~40歳代が多くなっています。
るるくは、大阪府立松原高等学校の自主活動グループです。高校生が同世代の若者にHIVとエイズについて、正しい知識を伝えることで、その理解を深めてもらえるよう取り組んでいます。
今回は高校生と一緒にHIVとエイズのことについて学びませんか？



このまちで暮らしている。私もあなたも。

ボラがくvol.20「エイズ予防」のチラシ

そもそも・・・

HIV | AIDS(エイズ)とは？

HIVとは、Human Immunodeficiency Virus (ヒト免疫不全ウイルス) のことで、ヒトの体をさまざまな細菌、カビやウイルスなどの病原体から守るのに大変重要な免疫細胞である、Tリンパ球やマクロファージなどに感染する**ウイルス**です。

HIVがTリンパ球やマクロファージなどに感染した結果、これらの細胞の中でHIVが増殖します。

このため、免疫に大切なこれらの細胞が体の中から徐々に減っていき、普段は感染しない病原体にも感染しやすくなり、さまざまな病気を発症します。

この**病気の状態をエイズ** (AIDS: Acquired Immuno-Deficiency Syndrome、後天性免疫不全症候群) と言います。代表的な23の疾患が決められておりこれらを**発症した時点でエイズと診断**されます。
(エイズ検査相談マップHPより)

エイズに関する電話相談 **0120-177-812**

厚生労働省 公益財団法人エイズ予防財団 エイズ予防情報ネット 検索
<https://api-net.jp/ap.or.jp/>

「令和4年度世界エイズデー」のポスター(エイズ予防財団/厚生労働省)

Check! 「レッドリボン」



HIV/エイズに関する運動の世界的なシンボル。

エイズに倒れて亡くなった方達に対する追悼の気持ちとエイズに苦しむ人々への理解と支援の意思を示すため、1980年代ごろから「赤いリボン」をシンボルにした運動が始まりました。

レッドリボンは、あなたがエイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージ。このレッドリボンの意味を知り、レッドリボンを身につけることによって、エイズをみんなで考えていきましょう。

Reference WEB sites 参考WEBサイト

検査・相談窓口情報サイト
HIV検査相談マップ
(事務局:神奈川県衛生研究所微生物部)

エイズ予防情報ネット
API-Net
(エイズ予防財団/厚生労働省)



「HIV / AIDS を大学生にも伝えたい...」 活かしたのは 過去の経験。

今回のボラがくのゲストにお招きした大阪府立松原高校の「るるくめいと」は、1999年に松原保健所と松原高校の連携で行われたHIV予防啓発「るるく講座」をきっかけとして生まれました。

「るるく」とは、**知る/考える/動くの最後の一文字「る・る・く」**からきていて、エイズについて**自分たちから「知る」ことで「動く」＝「行動すること」**を目指しています。

今回のゲストを呼ぶにあたって尽力してくれたのは、昨年春まで実際に「るるくめいと」として活動していた森田さん。

森田さんが繋いでくれたバトンは、当日ボラがくに参加した大学生にとって、**非常に貴重な機会**となりました。

ペープサートや劇を活用したこの出前講座は、どの年代にも理解しやすい内容だと思いました。また、10代の気持ちを素直に伝えることを大切にしていることで、私たち大学生にとっても非常に共感やすく、それゆえにHIV/AIDSについて**知ってほしいというメッセージが力強い**内容でした。

Interview 学生インタビュー



松原高校卒業生 / 元「るるくめいと」メンバー

森田 崇太郎 さん

(現代システム科学域 1年生)

僕たちの代では、大学生向けに出前授業を行ったことは一度もありませんでした。そこで12月の世界エイズデーを迎えるにあたって、大学生にもそうした学びの場が必要ではないかと思い提案しました。

大学での「るるく講演」が実現したときにまず感じたのは、やっぱり後輩たちのパワフルさでした。るるくめいととは、楽しみながらも真剣に伝えようとする「工夫と熱意の塊」だと自分は思っています。その熱量が、大学生側にも伝わっているのを感じたときはとても嬉しかったです。僕はるるくでの活動を通して、単にHIVに感染しないようにすることだけが大切ではなく、「パートナー同士の心と体を思いやること」が一番大切であると学びました。

今大学でも活動している人達とも、そうした学びを共有できたことは何よりも喜びに感じられました！



— Check! 「ボラがく」 —

ボランティア活動の背景にある社会課題や状況について学ぶ機会をつくる企画。ゲストと参加者の双方向の交流の時間を設けることで、ひとりではできない学びが得られます。

POINT

【テーマ選定のポイント】

- ・啓発デーや啓発月間との関連
- ・スポットライトが当たりにくい活動、団体



イベント参加時以外でも知る・学ぶきっかけづくりを意識

POINT

【「知る」から「動く」につなげる】

- ・ボラがくをキックオフイベントに企画がスタート。興味のあるメンバーを集める役割。
- ・既に進めようとしている企画についてその背景や支援方法についてより深める会にする。

過去に取り扱ったテーマ

ヘッドネーション	Rare Disease Day	
フェアトレード	エシカル消費	
障がい者の『暮らす』	障がい者の『働く』	自殺防止
院内学級	食物アレルギー	ウクライナ避難民
ヤングケアラー	地域の国際化	児童養護施設と里親
フードロス	児童虐待	エイズ予防
骨髄バンク	献血	部落差別



チャリティバー プレイベント

大阪府・大阪市

まちづくり

12月1日(木) @喫茶カントリー

杉本キャンパス近くの昔バーだったお店を借りて、学生が月1回バーをオープンするという企画です！

学生から地域住民まで多世代交流できるような憩いの場をつくることをモットーに活動しています。売上の一部は近くの子ども食堂の寄付にあてる予定です。

プロジェクトの企画、準備、そして、開店後は営業、片付けまで、基本的にお店の運営はすべて行い、その準備として定期的にミーティングを行っています。また、お酒を販売するうえで運営メンバー自身がお酒の知識をつけるため、お酒全般（特に日本酒）に精通した方を招いてお酒の勉強会を行っています。



バーを本格始動させる前の段階として、昨年の12/1にプレオープンを実施しました！

準備が間に合わなかったなど多くの反省点がありましたが、お客様、メンバーとも楽しい時間にする事ができました！特にお店のレトロな雰囲気大好評でした☆

ドリンクメニューのリクエストなど貴重なご意見もいただき、プレオープンを通して多くの課題が得られました。課題をメンバーで共有し、本オープンに向けてミーティングを重ねています。

次回オープンは2月9日(木)。お酒が飲める、飲めないに関係なくバーの雰囲気を味わえるバーをご提供します！



チャリティバー Instagram

生活科学部2回生
猪谷 千尋 さん
昨年の夏からはじまったこの企画。「杉本町でも子ども食堂作れたらいいな」という何気ない一言から始まりました。開催場所はすぐに決まり、順調と思いきや、進めていくうちに様々な問題点がでてきました。今思うと、プレオープンに至るまで、すごく大変で長い道のりだったけど、終わってしまつと、その達成感が全てを吹き飛ばします。予想以上の高評価をいただき、運営側も大いに楽しませてもらいました。これから、さらに発展していけるようにメンバー一同頑張ります。



参加した学生の声

繋がりづくり

大阪府・堺市

学生LIVErery

12月5日(月)～9日(金) @中百舌鳥キャンパスB12棟学生会館

12月5日～9日にB12棟前で本を通じた交流イベントを開催しました！「本で人と人とを繋ごう」をコンセプトにしたイベントです。

学生などから本を集め、イベント中に集めた本たちを貸し出します。貸し出した本は返却時にコメントをつけてもらい、本を貸した人と借りた人に交流を作ります。

V-mate (ボランティア登録学生)の1回生の提案から始まった試みであり、準備不足など不安要素を抱えたまま始まったイベントでした。しかし、開催してみると学生や地域の方、市役所の職員さんなど多くの方が足を止めてくださいました。



「人と人を繋ぐ」は、ボランティア活動において非常に重要なことです。今回の経験を生かしつつ、スタッフ一同、これからも精進して参ります！

飛び入りで運営に協力してくださった皆様、足を止めて本を借りに来てくださった皆様、本当にありがとうございました！



本に対して自分が返したコメントが、この本をおすめしてくれたい誰かに帰ってゆく...というのはとても素敵なコンセプトだと思えます！ボランティアアセンタを利用していただくのが、今回来たことなのですが、今回の本の交換会を通じて認知することが出来ました。ボランティアの方々、お疲れ様でした！

川名 美百合 さん

現代システム科学域 1回生



参加した学生の声

12月14日(水) @堺市立若松台中学校

今回、V-stationは「職業講話」に呼んでいただきました。

そもそも、職業講話では何をしているかというと、生徒が**職業について関心**を深め、**自分の将来について考える機会**を作っています。実際に働いている人が講師となって、業務の内容から、その職業の喜びや、苦勞、社会の厳しさなどを自由に話し、傾聴する生徒が自分の進路や希望実現に向けて、価値観の育成と学習意欲を図る場として設定されています。

ということで、ぜひ「ボランティアコーディネーター」についてお話してほしいという依頼を教育委員会の方からいただいたのです。



今回、学生スタッフ2名とコーディネーター1名の3名でお話をしに行きました！

【自分の将来について考える・深める時間にしよう！】をテーマとして、2つの話をしました！

- ①大学生の話を聞いて、自分の進路を想像してみよう
- ②コーディネーターという仕事を知ろう。仕事の選択肢を増やそう。

また、ボランティアコーディネーター体験ということで、実際にボランティアセンターでおこなっている**“マッチング”**というものを体験してもらいました。あまり聞きなれない職業だったかもしれませんが、楽しそうに聞いて聞いてくれたのが印象的でした。

普段のお仕事内容

- ・こんなことしたい(してほしい)と思っているけれど、どう手伝わらいいか(手伝ってもらったらいいか)わからない人に対して一緒に話しながら考えを整理し、考えを形にしていく。



→今後何かするためのヒントになるような考えのお手伝い。
→トライ&エラーを楽しんで行っていけるような後押し。

漠然とした思いを持つ大学生も多い

中学生から聞いた
感想を抜粋して
お届けします！

中学生から聞いた
感想を抜粋して
お届けします！

中学生から聞いた
感想を抜粋して
お届けします！

参加した
生徒の声

友好祭との共催で地域の小学生向けクリスマスイベントを開催！

大阪府・堺市

なかよしクリスマス会

12月24日(土) @中百舌鳥キャンパスB12棟学生会館

まちづくり

なかよしクリスマス会は、**友好祭実行委員会Community Service系**とV-stationが共催で、**地域の小学生を大学に招待**して楽しんでもらおう！という企画です。例年クリスマス前の休日で開催されています。なんと今年で12回目の開催となります！

友好祭実行委員会とV-stationで企画・運営を行い、学内外の様々な団体にステージ・ブース出展をしていただき、子どもたちに楽しんでもらいます。このイベントは**地域の小学生・親と交流するだけでなく、出展団体同士の交流も深める**ことが目的になっています。



今年は新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催となり、**制限がかかる中でのイベント**でしたが、11団体80人のボランティアが参加、約100人の地域の方にお越しいただきました。

ジャグリングや手話コーラスといったステージ、和楽器体験やバルーンアート、ロボットやレーシングカーの展示といったブースがありました！

目玉企画は巨大クリスマスツリーに、願い事を書いたカラフルな紙を貼ってデコレーションする、というものでした。

子どもたちがとても楽しそうにできて嬉しかったです！来年は制限が解除され、**より多くの人にこのイベントに関わってもらえたら**なと思いました。



来年は、もっとパワーアップしたなかよしクリスマス会です、たくさんの子どもたちにいい思い出を作ってもらえたらと思います！

私は12月24日に行われたなかよしクリスマス会の運営に携わらせていただきました。新型コロナウイルスが流行する前は毎年行われていたイベントですが、昨年一昨年は開催することができず、今年が復活の年になりました。そのため自分もV-stationの方も手探りで運営を進めました。難しいと思う場面もありましたが形になってよかったのですが、当日に子どもたちが楽しそうにしている姿や、団体のスタッフ同士で話している場を見ると、とても良い交流の場になったように思います。

地域保健学域2年生
田中衣織 さん



参加した
学生の声

付録

12月は

寄付月間

寄付は、あなたが
「欲しい未来のために、
できること」

ミンダナオ子ども図書館(MCL)の
子どもたちに

文房具

を届けます！
フィリピンにあるNGO法人ミンダナオ子ども図書館(MCL)さんの
本部では、約80人の子どもたちが共に生活しています。
子どもたちは様々な背景を抱えながらも、学校に通い勉強したい
という強い思い、そして素敵な夢を持っています。
そんな子どもたちがこれからも安心して、楽しんで勉強が続けられる
ように一緒に応援しませんか？



回収日時：(中百舌鳥キャンパス) 月曜日 9:00～17:30
火曜日～金曜日 9:00～20:30
(杉本キャンパス) 毎週火曜日 昼休み(12:15～13:15)

回収場所：(中百舌鳥キャンパス) V-station なかもず (B12棟2階)
(杉本キャンパス) 1号館前庭

回収する文房具の例：

黒のボールペン サインペン ハサミ ノリ
折り紙 鉛筆 消しゴム クレヨン 色鉛筆
A4のプリント用紙

※文房具は新品でなくても構いませんが、子どもたちがこれからも
喜んで使えるものにしてください。



お問い合わせ先：
大阪公立大学ボランティア・市民活動センター V-station(担当:松居)
TEL 072-254-7484
Mail volunteer_omu@ymail.ne.jp 企画：V-station 国際チーム



▲ V-stationでも様々な寄付活動を実施しています。[左上][右上]文房具の寄付を募りフィリピンに届けます。
[中右]雑炊を通してお金の寄付を募り、水が不足していたり不衛生な国へ安全な水が行き届く取り組みを応援します(贈水)。
[左下][右下]書き損じハガキの寄付を募り、ユネスコ協会を通して学校通学支援を行います。

12月は「寄付月間」。毎年12月に行われていて、多くの人が寄付について考え、実際に行動に移すことを目指す**啓発キャンペーン**です。

左下のキャンペーン公式ホームページからは、SNSで「いいね」をするだけで寄付に繋がったり、応援したい活動や団体を見つけてお金で寄付できたり、古本や書き損じハガキのリサイクルを通して寄付できるものなど、**様々な形で気軽に参加できるもの**が紹介されています。

実は中百舌鳥キャンパスのある堺市は、「寄付月間」の賛同**パートナー**になっていて、寄付に関する取り組みも盛んに行われています。

また、ボランティア活動は、自分の「時間」を自らすすんで使ってそれが誰かのためになっているというものなので、「**時間の寄付**」とも言われます。チャリティ商品などの寄付付きの商品を買うことも、寄付の1つです。

お金を直接渡すこと以外にも多様な寄付の形があります。

「欲しい未来のために、できること」として、ぜひこの機会に「寄付」について考えて、アクションをおこしてみませんか？



寄付月間

ホームページは下から



V-stationカレンダー ～1月の活動スケジュール～

活動名	活動日	活動時間	活動場所
ひゃくいちいっぽフェス	1月7日(土)	13:00 ～ 16:00	堺市立ビッグバン
オープンカレッジ	1月8日(日)	9:15 ～ 15:30	中百舌鳥キャンパス
しらすぎおうちごはん	1月9日(月祝)	11:00 ～ 14:00	モモの木 百舌鳥店
	1月16日(月)	15:00 ～ 19:00	おうちcaféモモ
文房具回収プロジェクト	1月10日(火)	昼休み(12:30 ～ 13:00)	前庭(杉本キャンパス)
	1月17日(火)	昼休み(12:30 ～ 13:00)	前庭(杉本キャンパス)
春休み期間中のボランティア説明会 「冬ボラ」	1月10日(火),11日(水)	2コマ (10:45～) 昼休み (12:30～) ※11日のみ 3コマ (13:15～) 4コマ (15:00～) 5コマ (16:45～) 放課後 (18:30～)	V-stationなかもず
	1月12日(木)	2コマ (10:45～) 昼休み (12:30～) 3コマ (13:15～) 4コマ (15:00～) 5コマ (16:45～) 放課後 (18:30～)	V-stationすぎもと
	1月13日(金)	10:00～ 14:00～ 18:00～	オンライン(zoom)
フクシスタイル 説明会	1月10日(火)	12:30 ～ 13:00	V-stationなかもず
雑貨村 in ソフィア・堺	1月14日(土),15日(日)	11:00 ～ 16:00	ソフィア・堺
チャレンジ! 使い捨てプラフリー生活 (パネル展示)	1月14日(土)	13:00 ～ 17:00	アリオ鳳
コミュニティガーデン@デイリーカーナート	1月15日(日)	9:30 ～ 10:30	デイリーカーナート 中百舌鳥店
ボランティアリーダー育成プログラム③	1月22日(日)	13:00 ～ 16:30	中百舌鳥キャンパス
いきいき堺市民大学 修了式	1月28日(土)	13:30 ～ 15:00	関西大学 堺キャンパス

編集後記

- editor's note -



【編集者 学生スタッフS】

あけましておめでとうございます！
今年もよろしくおねがいします！

今月もなんだかんだ特集記事を凝ってしもうたぁという感じが、
エイズ啓発の役に立てていければいいなと思います。

個人的には「教育」に関心があるので、るるくの方々がペープサートや劇を通して伝えてくれている姿を見て、
「他人に伝える」ということの奥深さに改めて惹かれました。
やっぱり「他人に伝える」というのは面白い！素敵やなぁと思います…。

(写真は12月中旬に森の中で木工をしたときの写真です。一緒に森に行った子の絵のセンスの良さに
感動しまくってました笑。テ〇サ上手すぎません！？笑)

NEWS

1月は「冬ボラ」開催！

V-stationでは、春休み期間に参加できるボランティア活動を
紹介する説明会イベント「冬ボラ」を開催します。

継続型ボランティア特集も組みました！

ぜひこの機会に何かボランティア活動をしてみませんか？
どんな活動があるのか？とふらっと見にくる形でも大丈夫
です！詳細は公式ホームページから



大阪公立大学ボランティア・市民活動センター V-station

〒599-8531

大阪府堺市中区学園町1-1 中百舌鳥キャンパスB12棟2階

TEL:072-254-7484 Mail:gr-gks-volunteer@omu.ac.jp



公式HP



Instagram



公式LINE



Twitter

